

令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	吉野ヶ里町			代表者名	伊東健吾
担当者部署(属性)	情シス担当	担当者部署名	まち未来課	連絡先電話番号	0952-37-0332
担当者役職	主査	担当者氏名	古賀 裕章	連絡先E-mail	
住所	842-8501 佐賀県吉野ヶ里町321番地2				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署			
担当者氏名		連絡先電話番号		連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修（単独）	事業名	Microsoft365導入事業(生成AI活用)		
概要	本町ではMicrosoft365導入を契機に、標準搭載のCopilotを活用した生成AI活用を推進する。職員の活用能力に差があるため、業務改善への具体的な適用と運用定着が課題である。庁内の生成AI活用基盤確立に向け専門的助言を求める。				
支援を求める分野	生成AI活用				

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和8年2月27日	支援・助言(実地)	9時30分	16時00分	60
			活動時間（分）	330	
2-2. 派遣場所	会場名	吉野ヶ里町役場三田川庁舎 会議室		最寄駅	吉野ヶ里公園駅
	所在地	佐賀県神埼郡吉野ヶ里町吉田321番地2		最寄駅からの交通手段	徒歩（5分）

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	上田 健次
評価	大変良い
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	参加者アンケートでは、7割以上が「理解しやすかった」または「とても理解しやすかった」と回答しており、講義内容のわかりやすさ・実務への即応性について高い評価が得られた。特に、町のデータや業務実例を用いた説明、プロンプト例の紹介、Excel・文書作成への具体的な活用例が参加者の理解を深めた点が評価されている。
アドバイザーへの要望事項	一部の参加者からは、ITリテラシーが高くない職員向けに、専門用語（例：VBA、マルチモーダル、ガバナンス等）の基礎的な補足説明があるとより理解が深まったとの意見があった。

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	合計人数	80人		
	属性	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
	人数	80			
4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果					
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	Microsoft365とCopilotの導入を進めているが、職員間で活用度やスキルに差があり、業務改善への具体的な結びつきが弱い。また、AI活用を前提とした業務プロセスの見直しやルール整備が不足しており、庁内での活用基盤づくりが未成熟である。				
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	・生成AI（Copilot）を庁内で安全かつ効果的に活用できる基盤の整備 ・職員が自ら業務改善を行えるようになるスキル向上 ・オープンデータを含むデータ活用力の底上げ ・研修体系・運用ルールづくりの方向性を明確化すること				
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	・生成AIの基本理解、他AIツール（ChatGPT、Gemini、Claude、Copilot）の特徴比較 ・Copilotの活用方法（文書作成、要約、FAQ生成、メール下書き、Excel分析、プロンプト事例） ・町の業務（各課の実例）を題材にしたプロンプト改善・活用例 ・住民対応、周知文、企画書作成、防災案内、議事録要約など職員の業務に直結するユースケースの提示 ・オープンデータの二次利用方法、庁内DX推進に向けた方向性 ・参加者の業務課題ヒアリングと、業務ごとの活用モデルの助言 ・VBAやExcel作業効率化に関する考え方・プロンプト作成のコツ（例：FILTER/XLOOKUP対応、定型処理の自動化等）				

支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"> 生成AI活用の具体イメージが深化 →アンケートでは多数が「明確に／おおむねイメージできた」と回答。 業務で使えるプロンプト例や活用場面が明確化 →特に文書作成、Excel作業短縮、住民向け案内文、企画書下書きなどのニーズに対応。 Copilotを活用する際のリスク管理（情報精査・個人情報保護・著作権など）の理解向上 各課の実務に寄せた応用例の提示により、部署別の業務改善の方向性が見えた DX研修・庁内育成の必要性が職員側で共有され、育成サイクル構築の基礎が形成された 	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	④人材育成のカリキュラムやツールを策定できた
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	<ul style="list-style-type: none"> 基礎的なITリテラシー差への対応 →専門用語の理解が難しい職員もあり、今後のフォローアップ研修が必要。 複雑な業務（VBA自動化、部署別固有の高度なプロセス改善）については、継続的な支援・追加研修が必要 庁内ガイドラインや利用ルールの詳細整備は今後の検討課題。 	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。（EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。） アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 別途PDFで提出	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
	<ul style="list-style-type: none"> 生成AI活用を前提とした業務改善の推進 オープンデータ活用拡大 研修後のフォローアップと実践的活用の定着策の検討 	
4-4. 事業の最終的な目指す姿	生成AI(Copilot)を業務の標準ツールとして活用し、事務の効率化と質の向上をり、住民への迅速でわかりやすい行政サービスを実現する。職員の業務負担を軽減し、窓口対応や地域課題解決に注力できる体制を整えるとともに、オープンデータ活用を通じて、住民の利便性・安心感・満足度の向上につなげる持続可能な行政運営を目指す。	

5. 報告書に関する地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可 掲載可

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG等）」を数枚程度貼り付けて下さい。

